

日商簿記1級に合格するための学校 [テキスト] 工業簿記・原価計算 基礎編 I (2014年11月29日 初版第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。
訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。
お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。
なお、弊社HP[「ネットスクール」検索→「読者の方へ」]にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいようお願いいたします。

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
7-10	2. 労務費に関する資料	(2) 直接工および間接工の出勤表のデータ(5月1日～5月31日)	(2) 直接工の出勤表のデータ(5月1日～5月31日)	2015.3.5
9-37	04-01解説 ③正常仕損費の負担先の決定	月末 40%	月末 24%	2017.7.6

ISBN978-4-7810-3155-2 C1034 ¥2000E

日商簿記1級に合格するための学校 [テキスト] 工業簿記・原価計算 基礎編 II (2014年11月29日 初版第1刷)

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
1-04	Q 02-01 資料1. 冒頭	1. 製造Xを1個製造するのに……	1. 製品Xを1個製造するのに……	2016.1.5
1-28	① 標準配賦額	(変動費率+固定費率)× 実際 操業度	(変動費率+固定費率)× 標準 操業度	2015.3.5
2-24	仕掛品 貸方 勘定科目	仕掛品売却価値	仕掛品売却価値	2017.7.6
3-15	上から4行目と7行目の脚注番号	……ならないためです ⁰³⁾ 。 Q1) 貢献利益率から目標営業利益率を……	……ならないためです ⁰⁴⁾ 。 Q4) 貢献利益率から目標営業利益率を……	2016.1.5
3-44	解答 問3 1行目後半	～営業外 費用 は固定費に対する減算項目として扱う。	～営業外 収益 は固定費に対する減算項目として扱う。	2015.3.5
4-30	3. 原価差異 (2)直接原価計算(標準変動費差異) 変動販売費の差異の金額	220	-220	2016.4.19
6-08	一番下の販売数量差異の金額	△5,200 千円	±8,000 千円	2016.4.19
6-17	3 標準原価差異 1行目	～は、 標準売上原価 と製造原価の実際発生額との差額で計算されます。	～は、 実際投入量 にもとづく 標準製造原価 と製造原価の実際発生額との差額で計算されます。	2018.4.4
6-17	3 標準原価差異 2行目の計算式	標準原価差異 ⁰²⁾ = 標準売上原価 -製造原価の実際発生額	標準原価差異 ⁰²⁾ = 実際投入量 にもとづく 標準製造原価 -製造原価の実際発生額	2018.4.4
6-22	差異分析図下の時間の表記	標準操業度 16,500時間 ¹⁰⁾	標準操業度 16,500時間 ¹⁰⁾	2016.4.19
6-30	3 標準変動費差異 1行目	～は、 実際P/Lの標準変動費と実際発生額との差額で計算されます。	～は、 実際投入量 にもとづく 標準変動製造原価と実際発生額との差額、実際販売量 にもとづく 標準変動販売費と実際発生額との差額 から構成されます。	2018.4.4
6-30	3 標準変動費差異 2行目の計算式	標準変動費差異= 実際P/Lの標準変動費 -変動費の実際発生額	標準変動費差異= 標準変動費(実際投入量にもとづく標準変動製造原価と 実際P/Lの標準変動販売費) -変動費の実際発生額	2018.4.4
6-31	資料 3. その他	・期首、期末の仕掛品および製	・期首、期末の仕掛品および 製品在庫はない。	2015.3.5

ISBN978-4-7810-3157-6 C1034 ¥2200E

日商簿記1級に合格するための学校 [テキスト] 工業簿記・原価計算 完成編 (2015年1月25日 初版第1刷)

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
7-31	Q02-04 問題文の2行目	製品AとBは、……#102、 #103 で構成されており、……	#103を削除して 製品AとBは、…… #102で構成されており 、…… として下さい。	2016.03.02
10-06	Q01-02 資料2の3行目	なお、追加工業を採用しても、 単位 あたり変動加工費は変化せず、	なお、追加工業を採用しても、 1時間 あたり変動加工費は変化せず、	2016.05.02
10-21	Q02-02 設問5の8行目	1個 当たり 891円(=900円×99%) で購入できる……	引取運賃100円も含めて1個 当たり 890円(=1,000円×99%) で購入できる……	2016.05.02
10-22	Q02-02 設問5の解答	機会原価 270,000 円	機会原価 300,000 円	2016.03.07
10-25	5行目計算式	900円 ×2%×15,000個= 270,000円	1,000円 ×2%×15,000個= 300,000円	2015.11.06
	<1回の発注量が1,500個のとき> の計算式と合計額	機会原価: 900円 ×2%×15,000個= 270,000円 合計 720,000円	機会原価: 1,000円 ×2%×15,000個= 300,000円 合計 750,000円	2015.11.06
	<1回の発注量が3,000個のとき> の計算式と合計額	在庫維持関連費用:3,000個/2× 289.1円 ⁰²⁾ = 433,650円 材料値引額: 900円 ×1%×15,000個= △135,000円 機会原価: 900円 ×2%×15,000個= 270,000円 合計: 881,150円 O2) 900円 × 99% ×10%+200円= 289.1円 1%の値引	在庫維持関連費用:3,000個/2× 289円 ⁰²⁾ = 448,500円 材料値引額: 1,000円 ×1%×15,000個= △150,000円 機会原価: 1,000円 ×2%×15,000個= 300,000円 合計: 711,000円 O2) 1,000円 × 99% ×10%+200円= 289円 1%の値引	2015.11.06
10-26	<1回の発注量が3,000個のとき> の計算式と合計額	在庫維持関連費用:5,000個/2× 288.2円 ⁰³⁾ = 720,500円 合計: 788,000円 O3) 900円 × 98% ×10%+200円= 288.2円 2%の値引	在庫維持関連費用:5,000個/2× 288円 ⁰³⁾ = 745,000円 合計: 872,500円 O3) 1,000円 × 98% ×10%+200円= 288円 2%の値引	2015.11.06

ISBN978-4-7810-3159-0 C1034 ¥2400E